



平成19年10月25日

各位

会社名 オーエム計画株式会社
代表者名 代表取締役 石原 信也
(コード番号・2401)
問合せ先
役職・氏名 財務担当取締役 飯田 祥久
電 話 053-488-1553

中間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年5月10日開示しました平成20年3月期（自平成19年3月21日～至平成20年3月20日）の上
半期業績予想及び通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 上半期の業績予想数値の修正（平成19年3月21日～平成19年9月20日）（単位：千円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表通期予想（A）	990,000	△10,000	△13,000
今回修正通期予想（B）	688,512	△20,268	△20,268
増減額（B－A）	△301,488	△10,268	△7,268
増減率（％）	△30.4	△102.6	△55.9
（ご参考） 前期実績（平成19年3月期上期）	558,106	△18,467	△18,467

2. 通期の業績予想数値の修正（平成19年3月21日～平成20年3月20日）（単位：千円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表通期予想（A）	2,000,000	5,000	3,000
今回修正通期予想（B）	1,350,000	△80,000	△82,000
増減額（B－A）	△650,000	△85,000	△85,000
増減率（％）	△32.5	—	—
（ご参考） 前期実績（平成19年3月期通期）	1,133,919	4,838	1,406

3. 修正の理由

姉齒問題に端を発した耐震偽装により、建築業界では、施工業者に対する信用不審が引き起こされ、消費者が工務店を敬遠し、ハウスメーカーを選択する傾向があり、住宅の受注割合が大きく変動しました。さらに、平成19年6月に改正建築基準法が施行され、確認申請が滞るなどの混乱を招いており、平成19年7月・8月の持家の新設住宅着工戸数が大きく減少（前年同月比△25%～△30%程度）するなど、建築業界全体（特に工務店）に大きな影響を及ぼしています。その他、原油価格の高騰による資材の値上げなども、住宅着工数を鈍化させる要因の一つと考えられます。

OM住宅に関しましては、春頃から一部回復の兆しが見られ、受注数も回復基調にあったものの、改正建築基準法の施行以降、再び受注が伸び悩んでいます。

よって、期首に前年と同程度の受注予想を行っていましたが、前述の要因等により30%程度の売上減少となり、上期業績修正を行う結果となりました。また、下期におきましても、当面混乱が継続する見込みであることから、通期における業績予測も併せて下方修正致します。

以 上